

# 今後の町立学校の在り方について

～町立学校適正配置計画を策定しました～

概要版

R6.3

## 町立学校の現状

(1) 児童生徒数は減少しており、今後も緩やかに減少が見込まれています。

学校名	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年 (見込み)
鷹栖小学校	245 人	150 人	117 人	94 人
北野小学校	257 人	239 人	184 人	160 人
合 計	502 人	389 人	301 人	254 人
増 減	—	▲113 人	▲88 人	▲47 人

鷹栖中学校	220 人	254 人	170 人	152 人
増 減	—	34 人	▲84 人	▲18 人

(2) 学校施設の老朽化が進んでいます。

学校名	建 築 年	経過年数
鷹栖小学校	昭和 48 年	50 年
北野小学校	昭和 59 年	39 年
鷹栖中学校	昭和 57 年	41 年

## 適正配置計画策定までの経過

□鷹栖町教育委員会では、上記の現状を踏まえ、令和 4 年 6 月に「鷹栖町立学校の在り方検討委員会」を設置し、町立学校の適正規模・適正配置にかかる基本的な考え方について、協議を開始しました。

□検討委員会では、現状の学校施設の見学をはじめ、他市町の学校施設（小学校統合校、義務教育学校）の視察研修や学校の在り方に関する保護者アンケート調査などを実施しました。

□令和 5 年 12 月に検討委員会より、答申書を受理しました。

(1) 学校の適正規模について、1 学級あたり 20～30 人程度が適当である。

(2) 学校の適正配置について、今後の児童生徒数の推移を慎重に見極めながら、将来的には 2 つの小学校の統合又は義務教育学校（小中一貫教育）への移行を検討するべき。

□現状の町立学校の学級規模を踏まえ、検討委員会の答申内容や保護者アンケートの結果、今後の児童生徒数の推移等を考慮し、「鷹栖町立学校適正配置計画」を策定しました。

## 今後の町立学校の在り方（基本方針）

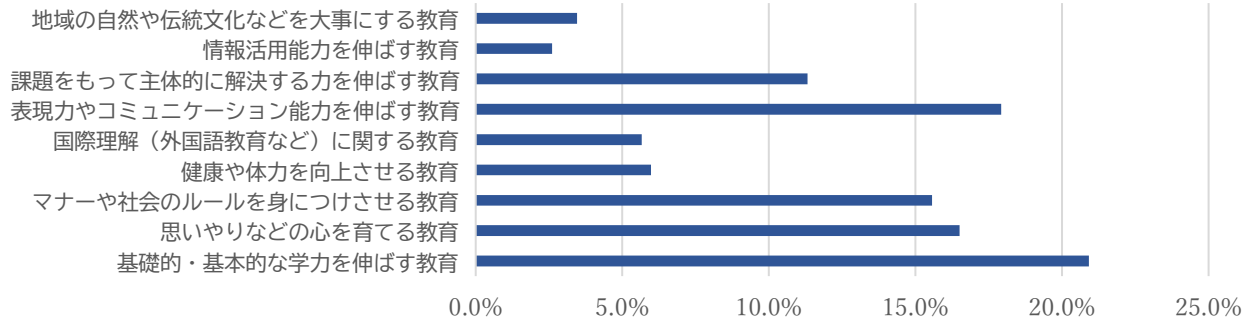
各学校が教育及び地域コミュニティの中心施設として果たしている役割等を鑑み、今後も小規模校のメリットを最大限に生かしていくため、当面の間は、

**現状の 2 小学校、1 中学校を維持していきます**

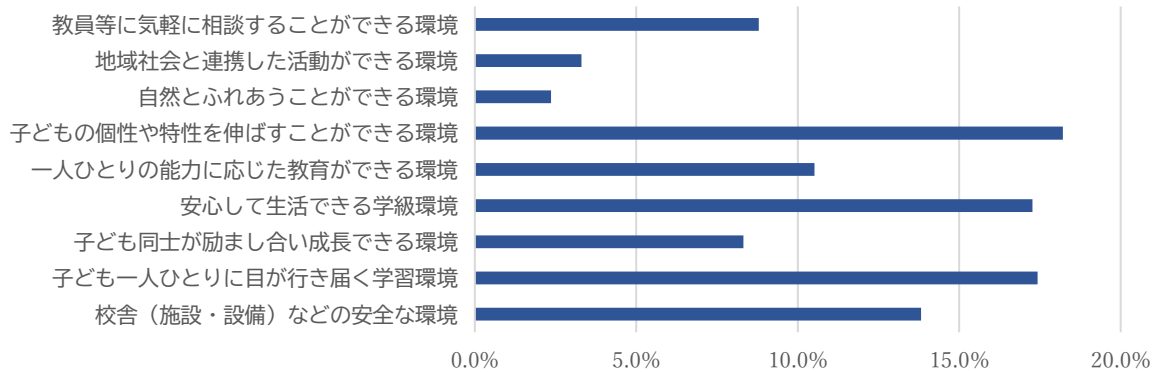
# これからの町立学校の在り方・教育環境に関するアンケート調査結果 【一部抜粋】

■ 調査期間	令和5年8月28日から9月8日
■ 調査対象	未就学児及び児童生徒保護者
■ 回答方法	Webによる調査・回答
■ 回収率	49.0% (配布：443世帯 回答：217世帯)

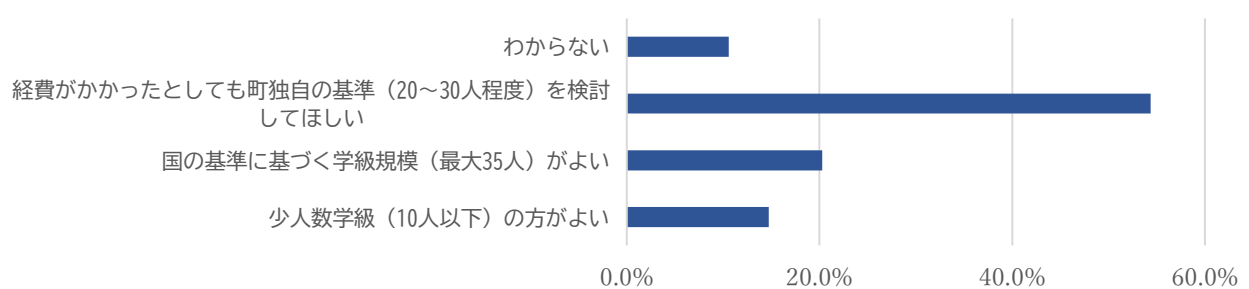
## (1) 学校教育の在り方について（大切だと思うこと）



## (2) 教育環境について（大切だと思うこと）



## (3) 学級（学校）の適正規模について



## (4) 学校の適正配置について

